

地元の区議会議員情報紙

とりがい秀夫の地域ニュース



南千住 8-3-3-201 電話&FAX (3807) 4811
自民党機関紙【38】22年10月号 毎月発行

常磐線快速、東京駅迄一部乗り入れか

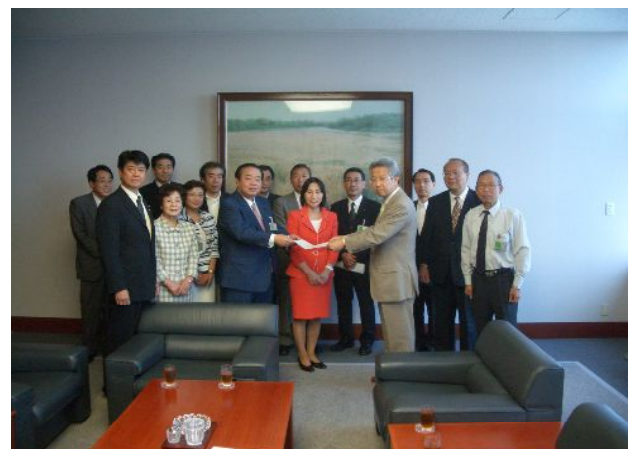
平成25年運転開始。南千住～東京駅間10分

JRは、現在、朝の通勤時間帯で最も混雑している上野～御徒町駅間の混雑率214%を180%に緩和するために工事を行っています。400億円の工事費を投入し、今後は上野～東京駅間の新幹線線の上に新しい線路を取り付けて平成25年に完成することになりました。この計画により現在、上野駅で終点となっている常磐・宇都宮・高崎線の一部が東京駅に乗り入れる事になり、さらに、これらの車両は横浜、小田原行きの東海道線との直通運転が始まることとなります。



荒川自民党 JR本社に要請へ

今後の課題は「南千住、三河島、日暮里駅を停車する、常磐線快速の一部を東京駅まで乗り入れる事」が地域の力を上げる事になると認識し、自民党荒川区議会はJR本社を訪ね、「ダイヤ改正時には、必ず東京駅まで乗り入れをするよう」強く要請しました。ダイヤ改正に着手する平成24年に間に合うよう今後も引き続き活動していきます。



21年度荒川区決算認定可決

高齢者・子育て支援等自民賛成、共産反対

荒川区議会第3回定例会が、9月9日より35日間開催されましたが10月13日で終了しました。

今回の決算委員会は9月22日から実質8日間かけて行なわれ、一般会計920億円に対する内容の審査に入り、各議員持ち時間・42分の中で質問を行ないました。介護サービスの充実や寝たきり高齢者の砦となる特別養護老人ホームの2か所の建設などの高齢者や障害者の福祉対策、南千住保育園や日暮里の保育園新設・改良費や妊婦健診負担等の子育て支援の充実、子供たちの学力向上策・50年ぶりとなる汐入東小学校の開設の教育分野の充実、子供や高齢者に対する見守り等の防犯・安全対策、都電沿線のバラの花植栽やヒートアイランド対策などの環境対策、商店街振興策等々で質疑応答がなされました。10月5日に委員会での採決が行なわれ、私たち自民党は賛成に廻り、共産党等は反対しましたが可決され、13日の本会議で正式に可決されました。



決算委員会で質問中の筆者(上)と本会議場(下)



南千住3丁目の「銭座」跡

今回は南千住で作られた、貨幣鋳造・銭座について書かせていただきます。江戸幕府が出来てから貨幣の鋳造は金貨や銀貨は主に幕府が鋳造しましたが、銅銭と呼ばれる貨幣は届け出制で行われていました。始めは台東区橋場や亀戸地区等で造られました。幕末の文久元年（1861）に橋場での貨幣鋳造が廃業すると、現在の明治通り、東京ガスのガスタンクの川寄りに**真崎銭座**が設置されました。敷地は兵庫県播磨藩・酒井雅樂頭（うたのかみ）の抱屋敷地を利用しました。敷地面積 6,500 坪（2万1千平米）



書体には三種あって、真文は小笠原吉岐守長行、草文は板倉周防守勝静、玉宝は松平春嶽慶永の書になるといわれています。

ラテラス前のセメントサイロの1万5千平米より広い所に6棟の御用倉が作られました。便所が15ヶ所あったと言いますからかなりの作業人がいたと推察されます。貨幣は主に天保百文銭をその次に文久永保4文銭を鋳造し



ましたが、4文銭は約九億枚鋳造したと言われています。慶応2年には日本橋の金座が焼失したため、一時は金貨の鋳造も行いました。明治中頃に銭座が廃業されると、この場所において明治政府の進める、霞が関官庁街の煉瓦を製造しました。現在、この場所は再開発事業により整備され、多くの人が走ったり、釣りをしたり、散歩をしています。当時の面影を残すものはありませんが、隅田川両岸は昔から風光明媚な場所として、多くの文人墨客に愛された所です。